マンスリーフォトコンテスト フォトコン・スクール

作品募集

読者のための月例コンテスト
プロ写真家があなたの作品を講評。
いつからでも参加できます!
作品発表の場として、ぜひご応募ください。

	部門	審査員	対象作品	賞金	応募サイズ
マンスリーフォトコンテスト 中・上級コース	ネイチャーフォトの部	1・4・7・10月号 米 美知子 2・5・8・11月号 福田健太郎 3・6・9・12月号 山本純一	自然風景や動物・植物、昆虫など、自然をテーマとした単写真	● 推薦1点 10,000円 ● 特選4点 5,000円 ● 入選14点 3,000円	● リバーサル すべて可 ● プリント 六ツ切〜ワイド 四ツ切 A4〜B4
	自由作品の部	1・4・7・10月号 長倉洋海 2・5・8・11月号 佐藤仁重 3・6・9・12月号 原田祐紀	人物スナップ、都市景観、風景、暮らし、ドキュメント、祭りなどネイチャーフォト以外をテーマにした単写真		
フォトコン・スクール 初級コース	ネイチャーの部	朝田理恵	中・上級コース、ネイチャーフォトの部と同じ	● 金賞1点 5,000円 ● 銀賞4点 2,000円※ ● 銅賞18点 1,000円※	● プリント サービスサイズ L判〜2L判 A5
	自由の部	近井沙妃	中・上級コース、自由作品の部と同じ		
	組写真の部	渋谷敦志	自由(2〜5枚で一組とする)	● 推薦1点 10,000円 ● 特選2点 5,000円 ● 入選7点 3,000円	● リバーサル すべて可 ● プリント 六ツ切〜ワイド 四ツ切 A4〜B4

※審査員のスケジュールにより予定の月号と変更になることもあります。ご了承ください。
※モノクロ作品招待席の応募要項は080ページにあります。

※QUOカード

【応募先】〒137-8691 新東京郵便局私書箱13号

【共　通】月刊フォトコン
「中・上級コース マンスリーフォトコンテスト○○の部 ○月号分」
「初級コース フォトコン・スクール○○の部 ○月号分」
「組写真の部 ○月号分」

【注　意】ゆうメール、ゆうパックでの発送は不可です。
※郵便(第一種)で受付可能なサイズにおさめてください／日本郵便私書箱受付のため郵送に限ります

⚠ご確認ください⚠

注意事項

- フォトコン・スクールでは「こうすればよくなる」に掲載される場合があります。また掲載となった場合は既発表扱いとなりますのでご了承ください。
- 入賞したリバーサルフィルムは原則として翌年にまとめて返却いたします。
- 人物の被写体に関する肖像権などについては、十分に注意を払ってください。また、応募者の責任において了解が得られているものとします。
- 入賞作品の著作権は撮影者に帰属します。主催者は展覧会のほか、本誌記事、印刷物、ホームページなどに使用する権利を保有します。
- 応募規定が守られていない場合や公序良俗に反していると編集部が判断した場合には、審査対象から外す場合もあります。
- 本誌の主催するコンテストなどにおいて、応募者の各種個人情報は、本誌掲載のために適切に使用します。
- 誌面発表後、個展やクラブ展などで使用いただくことは問題ありません。

送付時の注意

応募される作品が以下の項目に該当していないかどうかを確認してください。

- 現在、ほかの写真コンテストに応募していないか。
- 過去に、ほかの写真コンテストに入選、入賞していないか。
- 個展で発表したことはないか。
- 過去に印刷物に発表、または今後、印刷物などに発表する予定はないか。
- 応募作品と類似した作品(同条件で同時期に撮影した作品)が上記4項目に該当していないか。
- 同一作者が同じ対象を同じような条件で連続して撮影した作品は類似作品とみなします。

年度賞について

1月号から12月号までの成績を年間で集計し、1位〜5位の応募者に年度賞(組写真の部は1位〜3位)を授与します。

- 年度賞受賞者には、協賛各社からの協賛会社賞が授与されます。
- 年度賞表彰式を予定しています。
- フォトコン・スクールの年度賞1位〜5位までの受賞者は、次年度から同等部門への応募はできません。

応募から掲載までの流れ

作品送付 → 締切(当月10日) → 審査(当月中旬〜下旬) → 入選 → 通知(当月末) → データ問合せ(翌月上旬) → 掲載(翌々月20日)

審査 → 落選 → 返却

締切に間に合わなかった場合 翌月へ

応募規定

共　通

- 何月からでも応募可能です。
- 応募点数は各部門一人20点までとします。
- カラー、モノクロどちらでも応募できます。
- デジタルカメラによる撮影は、プリントして応募のこと。データ応募は受け付けておりません。
- 作品は、応募者の本人により撮影された未発表および発表予定のないものに限ります。ほかの刊行物やコンテスト、本誌他部門などへの二重応募、類似応募であると審査員または編集部が認めた場合は、入賞を取り消す場合があります。
- 審査結果はお答えできません。
- 中・上級と初級コースへの同時応募はできません。月号が違っていても両コースへの応募はできません。年度内はどちらか最初に決めたコースでご応募ください。
- 中・上級コースで賞に入ったら、それ以降、初級コースに応募することはできません。
- 写真仲間や家族と一緒に同じ被写体を撮影し、同時期に複数の方が応募する場合は似たような絵柄にならないように注意、工夫をお願いします。
- 個人ブログやSNSで公開した作品の応募は可能です。

※入賞作品は本誌記事で使用させていただくことがあります。

組写真の部

- 縦組み・横組みなど組み方は自由。
- 写真の裏面に分かるように番号をつけ、テープで止めてください。
- 応募票は1点に貼付するだけで構いません。
- 応募時に作品意図(ステートメント)の提出も可とします(形式・文字数は自由)。裏面に貼付してください。
- 他部門との同時応募も可能です。

送付時の注意

- インクジェットプリントは24時間以上乾燥させてから、必ず1枚ごとに透明な袋に入れてください。
- リバーサルは必ずマウントカバーを付けてください。ガラスマウントは使用不可。
- 作品送付における事故については、いっさい責任を負いかねます。簡易書留による送付をおすすめします。
- 作品を当て紙などに挟んで、折り曲げや傷を防いでください。
- 封筒表面に部門名と月号を朱書きしてください。
- 複数部門に応募する場合でも、部門ごとに分けて郵送してください。また、同月・同部門への応募を複数に分けて送ることはご遠慮ください。

返却について

選外作品は、以下の必要事項が満たされている場合、原則として締切日より1か月以内に郵送にて返却します。

- 作品1点ごとに「返却希望」と朱書きしてください。
- 返却用封筒(応募時と同額の切手を貼付し、返却先を明記)を同封して応募してください。
- メール便では受け付けません。

※返却の際、予選通過作品の裏面にカラーシールを貼付します(最終予選:青、2次予選:黄、1次予選:赤)。

応募例

- **中・上級コースネイチャーフォトの部と中・上級コース自由作品の部=○**
- **中・上級コースネイチャーフォトの部と初級コース自由の部=×**
- **中・上級コース自由作品の部と組写真の部=○**
- **初級コースネイチャーの部と自由の部=○**
- **初級コース自由の部と組写真の部=○**
- **以前に一度でも中・上級コースネイチャーフォトの部及び自由作品の部で入選 ➡ 初級コースへの応募=×**
- **以前に初級コースで年度賞を受賞 ➡ 初級コースへの応募=×**
- **以前に中・上級コースで年度賞を受賞 ➡ 今年度の応募=○**

※本誌の中・上級コースには卒業制度はありません

応募票について

応募票をテープ等で貼付(位置は自由)、または記入してください。

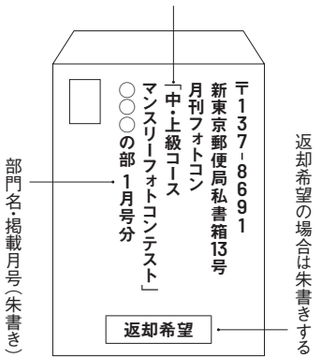
- 部門、画題、写真の天地(↑)、郵便番号、住所、氏名、電話番号、使用カメラ・レンズを明記すること(見本参照)。
- 応募票はコピーや自作したもので構いません。リバーサルで応募の場合は、マウントに同内容を明記してください。
- ペンネームで応募の場合は、本名も明記してください。

画像合成・消去について

写真の合成(比較明合成も含む)、または写真に写っているものを消去した場合については、画像合成・消去の欄に「有」と必ず明記してください。トリミングや明るさ調整、覆い焼き・焼き込み、コントラストの調整、彩度の調整は、この範囲に含まれません。

封筒の記入例

注意! 「初級」「中・上級」のいずれかを明記すること(組写真の部の場合コース名は記入しなくて可)



プリントの場合の応募票見本

部門		月号分
画題		天地 ↑
住所		
氏名	電話	
画像合成・消去	有　無	※いずれかに丸をしてください。
カメラ名	レンズ名(ミリ数)	

応募時の撮影データはカメラ・レンズのみ記入してください。
入選・入賞作品のみ入賞通知時に詳細な撮影データを問い合わせます。

リバーサルの場合の記入例

画題
撮影データはカメラ・レンズのみ記入
天↑
返却希望

〒104-0032 東京都中央区八丁堀
4-10-8 第3SSビル601
日本一郎 (電話:03-3551-2689)

直接マウントに明記してください。
裏面への記入も可。

● お問い合わせ:月刊フォトコン編集部　月例コンテスト係　　電話:03-3551-2643